



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

東

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所  
 コード番号 2196 URL <http://www.escrit.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 岩本 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員管(氏名) 高梨 宏史 (TEL) 03-3539-7654  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年12月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,144	18.8	△455	—	△502	—	△354	—
27年3月期第2四半期	9,376	14.1	175	△53.1	139	△58.8	63	△64.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △355百万円(—%) 27年3月期第2四半期 63百万円(△63.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△29.97	—
27年3月期第2四半期	5.41	5.32

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,609	4,708	19.9
27年3月期	19,930	5,121	25.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,689百万円 27年3月期 5,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
28年3月期	—	7.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,468	18.3	2,010	△16.9	1,923	△18.3	1,197	△16.8	101.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社エスクリマネジメントパートナーズ

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	11,838,600株	27年3月期	11,821,500株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	652株	27年3月期	652株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	11,831,335株	27年3月期2Q	11,714,120株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成27年11月10日(火)に機関投資家およびアナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする各種政策効果もあり、円安による輸出の持ち直しや労働市場の改善等、緩やかな景気回復基調が続いております。一方で、国内においては消費税率の引き上げが控えていること、また海外では、中国における景気減速懸念や米国における金融引き締め観測などもあり、先行きに関しては、依然として不透明さが残る状況と判断しております。

このような環境下、当社グループは主力事業であるブライダル事業において、施設スタイルにこだわらず、東京23区および政令指定都市を中心とした利便性の高いエリアに展開した直営の挙式・披露宴施設の運営を継続してまいりました。また、他社のブライダル施設の運営受託事業や、子会社を通じた地方を含めた新たな地域・施設への展開の強化、あわせて企業買収、事業譲渡を組み合わせ、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を進めております。一方で、当期に開業予定の複数のブライダル施設の開業が下期に集中することなどから、上期に関しては費用先行となることが想定されておりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高11,144百万円(前年同四半期比18.8%増)、営業損失455百万円(前年同四半期は175百万円の利益)、経常損失502百万円(前年同四半期は139百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失354百万円(前年同四半期は63百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

#### (ブライダル事業)

前連結会計年度に開業した宮城県仙台市の「ラグナヴェール SENDAI」および「アンジェリオン オ プラザ SENDAI」、東京都豊島区池袋の「アルマリアン TOKYO」および「アヴェニールクラス TOKYO」が通期稼働したことや、運営受託事業やルクリアモーレ、得ナビウェディングといったニューブライダルサービスが業績を伸ばしたことなどから、売上高は8,320百万円(前年同四半期比19.6%増)となりました。

一方で、当期に開業するブライダル施設のオープン時期が、下期に集中することとなり、過去最大級規模の4つの新規施設の開業準備コストが発生していることから、セグメント利益は29百万円(同95.7%減)となりました。

#### (建築・内装事業)

建築・内装事業においては、対前期では若干弱い売上となっているものの、対計画では順調な推移となっております。店舗内装、個人住宅の工事完成があったことなどにより、売上高は1,173百万円(前年同四半期比16.0%減)となり、セグメント利益は152百万円(同26.8%減)となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業においては、平日の法人宴会サービス、レストラン事業、宿泊事業が好調に推移したほか、株式会社渋谷におけるコンテナ事業や不動産事業の売上が好調に推移したことなどにより、売上高は1,649百万円(前年同四半期比61.3%増)、セグメント利益は95百万円(同16.8%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,679百万円増加して、23,609百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1,634百万円増加したこと、敷金及び保証金が399百万円増加したこと、流動資産が1,566百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ4,091百万円増加して、18,900百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したこと、前受金が増加したこと、資産除去債務が増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ412百万円減少して、4,708百万円となりました。これは主に、四半期純損失を354百万円計上したこと、前事業年度の期末配当65百万円を実施したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,039百万円増加し、5,652百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は185百万円(前年同四半期は48百万円の支出)となりました。その主な内訳は税金等調整前四半期純損失485百万円、前受金の増加額619百万円があった一方で、売上債権の増加額177百万円、未払金の減少額58百万円、仕入債務の減少額48百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は942百万円(前年同四半期は3,604百万円の支出)となりました。その主な内訳は有形固定資産の取得による支出790百万円、敷金及び保証金の差入による支出239百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は2,156百万円(前年同四半期は2,584百万円の収入)となりました。その主な内訳は長期借入れによる収入3,400百万円、長期借入金の返済による支出1,560百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日付の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社エスクリマネジメントパートナーズを連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,821,803	5,911,054
受取手形及び売掛金	350,607	287,720
完成工事未収入金	209,027	453,950
商品及び製品	80,519	97,587
販売用不動産	298,822	271,454
原材料及び貯蔵品	60,958	80,365
未成工事支出金	98,036	113,752
その他	550,836	813,881
貸倒引当金	△13,762	△6,611
流動資産合計	6,456,849	8,023,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,998,446	8,730,132
その他	1,741,079	2,643,650
有形固定資産合計	9,739,526	11,373,782
無形固定資産		
のれん	309,738	274,465
その他	278,275	268,895
無形固定資産合計	588,013	543,360
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,554,582	2,953,890
その他	606,363	732,957
貸倒引当金	△15,182	△17,463
投資その他の資産合計	3,145,763	3,669,383
固定資産合計	13,473,303	15,586,527
資産合計	19,930,153	23,609,681

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,611	1,081,790
短期借入金	—	433,336
1年内返済予定の長期借入金	2,192,423	2,713,782
未払金	900,132	1,076,572
前受金	827,437	1,569,167
その他	1,884,824	1,442,071
流動負債合計	6,996,429	8,316,719
固定負債		
長期借入金	6,344,347	8,802,541
資産除去債務	1,308,055	1,571,921
その他	160,099	209,666
固定負債合計	7,812,501	10,584,129
負債合計	14,808,931	18,900,849
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	573,903	577,156
資本剰余金	531,903	535,156
利益剰余金	3,994,944	3,575,298
自己株式	△187	△187
株主資本合計	5,100,564	4,687,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,188	1,977
その他の包括利益累計額合計	3,188	1,977
新株予約権	17,469	19,430
純資産合計	5,121,222	4,708,832
負債純資産合計	19,930,153	23,609,681

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,376,853	11,144,177
売上原価	4,020,079	4,925,949
売上総利益	5,356,773	6,218,228
販売費及び一般管理費	5,181,499	6,674,134
営業利益又は営業損失(△)	175,274	△455,906
営業外収益		
受取賃貸料	2,004	2,004
為替差益	5,938	10,734
貸倒引当金戻入額	—	5,057
その他	4,910	4,371
営業外収益合計	12,852	22,168
営業外費用		
支払利息	41,303	53,091
その他	7,513	15,798
営業外費用合計	48,816	68,890
経常利益又は経常損失(△)	139,310	△502,628
特別利益		
負ののれん発生益	—	17,364
新株予約権戻入益	3,142	—
特別利益合計	3,142	17,364
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	142,452	△485,264
法人税、住民税及び事業税	76,295	69,690
法人税等調整額	2,804	△200,323
法人税等合計	79,100	△130,632
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,352	△354,631
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	63,352	△354,631

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,352	△354,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	519	△1,211
その他の包括利益合計	519	△1,211
四半期包括利益	63,871	△355,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,871	△355,843

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	142,452	△485,264
減価償却費	427,153	604,503
のれん償却額	29,312	35,272
負ののれん発生益	-	△17,364
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,524	△4,908
受取利息及び受取配当金	△1,365	△1,660
支払利息	41,303	53,091
売上債権の増減額(△は増加)	△218,445	△177,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	△123,853	△7,280
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	143,304	△15,715
仕入債務の増減額(△は減少)	△225,957	△48,056
前受金の増減額(△は減少)	696,578	619,918
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△163,607	74,019
未払金の増減額(△は減少)	△77,536	△58,299
その他	△135,885	△138,418
小計	534,978	432,050
利息及び配当金の受取額	1,365	1,465
利息の支払額	△38,938	△52,248
法人税等の支払額	△545,892	△566,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,488	△185,356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△22,418	△14,423
定期預金の払戻による収入	13,200	1,200
有形固定資産の取得による支出	△2,968,815	△790,350
資産除去債務の履行による支出	△15,200	-
無形固定資産の取得による支出	△127,399	△21,481
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	131,769
敷金及び保証金の差入による支出	△507,704	△239,912
敷金及び保証金の回収による収入	52,435	5,923
その他	△28,877	△15,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,604,779	△942,278
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	433,336
長期借入れによる収入	3,550,000	3,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,063,898	△1,560,466
配当金の支払額	△57,838	△65,016
その他	△44,057	△51,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,584,205	2,156,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,938	10,734
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,063,124	1,039,527
現金及び現金同等物の期首残高	4,021,338	4,613,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,958,214	5,652,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ブライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,955,917	1,398,005	8,353,922	1,022,930	9,376,853	—	9,376,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,784,304	1,784,304	30,947	1,815,251	△1,815,251	—
計	6,955,917	3,182,309	10,138,226	1,053,878	11,192,105	△1,815,251	9,376,853
セグメント利益	677,528	207,659	885,187	114,428	999,616	△824,341	175,274

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業および宴会事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△824,341千円には、セグメント間の未実現利益の調整額△76,273千円、のれん償却額△29,312千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△718,755千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ブライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,320,706	1,173,890	9,494,596	1,649,581	11,144,177	—	11,144,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	357,213	357,213	37,746	394,960	△394,960	—
計	8,320,706	1,531,104	9,851,810	1,687,328	11,539,138	△394,960	11,144,177
セグメント利益	29,010	152,092	181,102	95,237	276,340	△732,246	△455,906

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業および宴会事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 △732,246千円には、セグメント間の未実現利益の調整額△10,499千円、のれん償却額△35,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△686,473千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
4. 第1四半期連結会計期間において、みや美株式会社の全株式を取得しており、「ブライダル」の区分に含めて記載しております。また、当第2四半期連結会計期間において、平成27年7月に設立した株式会社エスクリマネジメントパートナーズを新たに連結子会社としており、「ブライダル」の区分に含めて記載しております。

## 4. 補足情報

(1) 平成28年3月期第2四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益又は 営業損失 (△)		経常利益又は 経常損失 (△)		四半期純利益又は四 半期純損失 (△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,475	14.6	△535	—	△578	—	△405	—
27年3月期第2四半期	7,397	6.6	99	△73.7	63	△81.8	27	△85.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△34.28	—
27年3月期第2四半期	2.36	2.33

(注) 1. 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(2) 平成28年3月期の個別業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	22,171	20.3	1,786	△14.8	1,132	△14.4	95.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無